

## 第32回土木史研究発表会

---

1. 主催：土木学会（担当：土木史研究委員会 <http://www.jsce.or.jp/committee/hsce/index.htm>）
2. 期 日：【研究発表会】2012年6月16日（土）・17日（日）
3. 会 場：日本大学理工学部 駿河台キャンパス 1号館  
交通案内：JR中央・総武線「御茶ノ水」駅 下車徒歩3分  
東京メトロ千代田線「新御茶ノ水」駅 下車徒歩3分  
東京メトロ丸ノ内線「御茶ノ水」駅 下車徒歩5分  
駅からのアクセス及び発表会・懇親会会場は <http://www.cst.nihon-u.ac.jp/campus/index.html> をご参照下さい。
4. 参加費：会員、非会員：5,000円  
学生会員：2,000円  
講演集販売：4,500円  
※当日会場にて申し受けます。
5. 懇親会：1) 日 時：2012年6月16日（土）18:30～20:00  
2) 会 場：1号館2階カフェテリア  
3) 参加費：4,000円程度（学生割引あり）を予定  
4) 参加方法：当日会場にてお申し込み下さい。

両日とも、お昼休みには各種小委員会の会議が予定されています。詳しくは、後日HPでご案内いたします。

土木史研究委員会HP：<http://www.jsce.or.jp/committee/hsce/>

6. プログラム：

◆6月16日(土)

時間	第1会場(121教室)	第2会場(122教室)
10:00	開会挨拶 土木史研究委員会委員長 小林 一郎	※論文名の右端にある★印は、土木学会論文集D2分冊への投稿意思表示です。
10:15	特別講演：ローマから見た土木の歴史 文化庁 北河大次郎	
11:45		
13:05	<b>【災害史・災害復興】 司会：平野 勝也(東北大学)</b>	<b>【土木史一般】 司会：篠原 修(EA協会会長)</b>
	1 南郷谷地域における大規模災害前後の集落の変遷 1 松田佳祐(熊本大学)・岩田圭佑・田中尚人	11 土木遺産の観光ツアーとしての活用 ～土木遺産「狩勝峠」の見学コースについて～ 67 原口征人(社団法人北海道開発技術センター)・今尚之・佐藤馨一
	2 環境史からみた東北地方太平洋沖地震の津波災害 ★ 9 高橋学(立命館大学)	12 法整備と板石生産からみる路面電車の軌道敷舗装に関する変遷 ★ 71 岡田幸子(熊本大学)・小林一郎・仲間浩一
	3 藩政期の絵図に見る飛越地震 13 村田晶(金沢大学)・安達實・宮島昌克	13 グラスゴーから工部大学校へもたらされたもの ★ 77 島崎武雄(地域開発学研究所)
	4 風俗画報などの絵に見る濃尾地震 17 門田信一((株)アステック)・竹谷栄一・山崎廣志・安達實	14 五高工学部・熊本高等工業学校土木工学科における卒業設計の位置づけに関する研究 83 山中孝文(熊本大学)・小林一郎・田中尚人・星野裕司
	5 長崎の戦災復興計画への市民意見に関する研究 ★ 21 本村純太(熊本大学)・星野裕司・増山晃太・尾野薫	15 明治、大正期の長野県牛伏川砂防施設の歴史と評価 87 山浦直人(前長野県建設部)・小西純一・竹村正・井上公夫
15:10		
15:30	<b>【災害史・災害復興(企画) 司会：中島 直人(慶應大学)</b>	<b>【水辺の都市地域計画】 司会：松浦 茂樹(東洋大学)</b>
	6 横浜市における防災都市計画の実態－防空緑地と建物疎開の実態と現状－ 31 伊藤亮(元日本大学)・大沢昌玄・岸井隆幸	16 江戸時代初頭における煤鼻(褌花)川の開発形態に関する研究 ★ 95 宮下秀樹(株式会社守谷商会)
	7 平成23年東北地方太平洋沖地震による歴史的土木建造物の被災状況に関する調査報告 ★ 37 阿部貴弘(日本大学)・依田照彦	17 低平地河川日光川の河口締切に至る過程と背景 ★ 105 安井雅彦(愛知県建設部)
	8 東日本大震災の津波被災市街地復興支援調査とそのアーカイブ化(報告) 49 鈴木通仁(国土交通省)・新屋千樹	18 開拓初期の札幌市街地における豊平川の改修事業 ★ 113 岩田圭佑(熊本大学)・田中尚人
	9 日暮里地域における市街地復興事業の計画設計手法に関する研究 一日暮里大火復興土地区画整理事業を中心として－ 53 三木元太(元日本大学)・岸井隆幸・大沢昌玄	19 宇治川流派公有水面埋立工事からみた伏見の都市経営策 ★ 121 林倫子(立命館大学)
	10 災害復興のための土地区画整理の形成過程に関する制度史的考察 59 築瀬範彦(足利工業大学)	20 山国川流域の潜水橋整備史 131 神島一也(熊本大学)・岩田圭佑・田中尚人
17:35		
17:50	<b>委員会企画</b>	
	「東日本大震災関連活動報告」 司会：依田照彦(早稲田大学, 東日本大震災特別小委員会委員長)  ・東日本大震災特別小委員会の活動(成果と課題) ・文化財ドクター派遣事業及び建築学会の活動 ・東日本大震災に係るH24年度の活動について(意見交換)	
18:20		

◆6月17日(日)

時間	第1会場(121会議室)	第2会場(122会議室)
8:45	<b>【世界遺産】(企画) 司会:岡田 昌彰(近畿大学)</b>	<b>【都市】 司会:葉瀬 範彦(足利工業大学)</b>
	21 世界の名橋「錦帯橋」 139 重岡章夫(岩国市産業振興部)	37 英日中の大都市における郊外ニュータウン計画の系譜に関する基礎的研究 ーロンドン、東京、上海のニュータウンについてー 227 励瑩(日本大学)・大沢昌玄・岸井隆幸
	22 通潤橋建設に見る肥後藩の土木行政制度 143 本田泰寛(第一工業大学)・永村景子・小林一郎	38 明治時代の公共事業における土地取用法 233 貴堂巖(株式会社ケイエステック)
	23 立山砂防施設群の歴史的・文化的価値について 147 椎葉秀作(富山県土木部)・松島吉信・中野聡一郎・川上孝裕・戸田雅之・永野正千	39 近代岐阜の都市計画黎明期における土地区画整理の意義 ★ 237 出村嘉史(岐阜大学)・田中利明
10:25		40 伏見市の京都市編入(京伏合併)過程における政治主導 245 小野芳朗(京都工芸繊維大学)・林夏樹
10:45	<b>【土木と政治・行政】(企画) 司会:鈴木 淳(東京大学)</b>	<b>【歴史的景観】 司会:真田 純子(徳島大学)</b>
	24 国立公文書館所蔵の土木史関係資料(建設省関係)について 151 土田宏成(神田外語大学)	41 鎌倉同人会の活動にみる近代鎌倉のまちづくりに関する基礎的研究 ★ 251 飯塚陽生(日本大学)・天野光一・押田佳子
	25 帝国大学創立期における工科大学土木工学科と内務省土木局～卒業生の進路分析～ 155 安原徹也(東京大学)	42 国分寺崖線の歴史的変遷に関する基礎的研究 ★ 255 寒河江朋之(日本大学)・天野光一・押田佳子
	26 政党内閣期(1924～1932年)における土木系技術官僚の政治史的研究 163 若月剛史(東京大学)	43 高開の石積み集落の文化的景観の特質 259 金子玲大(早稲田大学)・佐々木葉
	27 高度成長と土木政策の展開 167 城下賢一(京都大学)	44 天草今富地区における暮らしに根ざした景観構造に関する研究 265 芥慎太郎(熊本大学)・田中尚人・岩田圭佑
12:25		
13:30	<b>【土木遺産を活かしたまちづくり】(企画) 司会:阿部 貴弘(日本大学)</b>	<b>【地域開発】 司会:佐々木 葉(早稲田大学)</b>
	28 土木遺産活用への課題 ー大阪近郊での諸例からー 171 石田成年(大阪府柏原市教育委員会)	45 建部井堰 ー現存する日本最大の総石張の取水堰 ★ 273 樋口輝久(岡山大学)・馬場俊介
	29 旧国鉄中央西線廃線「愛岐トンネル群」保存再生について 175 村上真善(愛岐トンネル群保存再生委員会)	46 天草棚底地区における農業水利に関する研究 ★ 281 岩切謙介(熊本大学)・田中尚人・岩田圭佑
	30 多賀城市歴史的風致維持向上計画と貞山運河 ★ 179 鈴木孝行(宮城県多賀城市教育委員会)・雨宮裕樹	47 園池と用水路にみる土木事業における犯土思想の影響について ★ 293 西山孝樹(日本大学)・藤田龍之・知野泰明
	31 明治期の市街地計画の普遍性に関する研究 ー軍都としての舞鶴を事例としたケーススタディー 183 矢谷明也(舞鶴市)	48 台湾における石門ダムの計画過程に関する研究 ★ 299 黄俊銘(中原大学)・簡佑丞
15:10		
15:30	<b>【橋梁】 司会:鈴木 圭(鹿島)</b>	<b>【土木事業と歴史】 司会:土田 宏成(神田外国語大学)</b>
	32 『長谷川眞通氏所蔵文書』による大坂の橋の構造復元 ★ 185 松村博	49 神通川船橋の工学的考察 ★ 307 貴堂巖(株式会社ケイエステック)・坂森幹浩
	33 東京市内の橋梁群並びに樺島正義及び東京市橋梁課の技術者たち ～震災以前と復興橋梁群の連続性について～ ★ 193 白井芳樹(株式会社オオバ)	50 藩政文書にみる加賀橋梁考 319 門田信一((株)アステック)・竹谷栄一・山崎廣志・安達寛・松田洋一郎・鳥居和之
	34 東京市施行震災復興橋梁群の型式配置の考え方 ★ 201 白井芳樹(株式会社オオバ)	51 北海道開発における分県論とその後の開発政策の展開 ★ 323 戸巻昭三(株式会社クマシロシステム設計)・神代方雅・神代順平・長内戦治・田中実
	35 116年前に造られたプラトラスの再生工場の紹介 隅田川橋梁から江ヶ崎跨線橋を経て霞橋へ ★ 213 上野淳人(株式会社オリエンタルコンサルタンツ)・大波修二・三谷祐一郎・鈴木淳司・尾栢茂	52 清水越新道にみる道路技術と杉山轡吉の長野県赴任日記 329 山浦直人(前長野県建設部)・小西純一
	36 文化財保護の考え方の適用に関する考察 ー歴史的鋼橋の保全を事例としてー 221 近藤祐斗(日本大学)・阿部悟・五十畑弘	53 帝都復興院ならびに内務省復興局・復興事務局幹部職員の変遷 335 伊東孝祐・大沢昌玄・伊東孝
17:35		
17:45	若手優秀発表表彰 土木史研究発表会小委員会	
	総括および閉会挨拶 土木史研究発表会小委員会委員長 五十畑弘	